

平成27年度 中国・瀋陽師範大学短期プログラム 報告書

北海道教育大学釧路校
学校カリキュラム開発専攻
3年 佐野留奈

1、はじめに

私は、2月27日から3月12日まで中国の遼寧省にある瀋陽師範大学の短期プログラムに参加しました。北海道教育大学からは、2週間滞在の釧路校から2名、函館校から6名の参加で、1か月滞りの旭川校の1名で参加しました。瀋陽師範大学での授業の様子や生活などについて報告したいと思います。

2、瀋陽市内の様子と学校の様子

中国東北地方最大級の都市で、片側5車線の道路が走る大きな街が広がります。大学は、郊外から少し離れたところにありますが、大学の目の前に地下鉄があり、すぐ買い物に行けます。大学は、哲学、経済学、法学、教育学、文学、理学、工学、管理学の8つの学部がある総合大学です。校内には、附属幼稚園や学校、博物館などがあり、とても大きい学校という印象です。日本でいう生協は、規模が全く違い、文具店、コンビニ、果物屋さん、服屋さん、カバン屋さん、美容室がそろっていて、大学の中で生活用品が大体そろえることができます。食堂は、出店が沢山あり、その中から好きなお店で好きなご飯を買うという感じです。食堂内のテーブルでたべてもいいし、持ち帰ることもできます。持ちかるときはなんでもビニール袋で包む形で渡されます。学生は、郊外に出かけてショッピングをする人もいますが、ネットショッピングで服などを買う人も多く、中には、大学の外にあまり出ないという人もいました。



大学内の食堂にあるお店で、火鍋を食べました。回転寿司のように回る具材を選んで食べます。具材は串に刺さっていて、その串の本数で値段が変わります。串1本が1元（18円くらい）なのでたくさん食べても安いです！

大学生協と食堂がある建物



左の写真の隣に並ぶご飯屋さん



3、授業について

授業は、1コマ45分で、1から4コマの午前中に中国語を習いました。初日に、クラス分けが行われました。私は、中国語を習ったことがなかったので、F1クラスでした。F1クラスには、韓国人、アフリカ人、イタリア人など色々な国の人がいました。中国語を初めて習う人ばかりだったので、ピンインの発音練習から教えていただきました。中国語の発音は難しく、声調が4つあって中々うまくできませんでしたが、一人一人発音して、先生がチェックしてくれたので、不安にならずに練習できました。ピンインの練習をしつつ、挨拶などの練習もしました。他の国の人たちと中国語を通して、コミュニケーションをとることができたのが楽しかったです。午後の中国語の授業が終わると、午後に中国の茶道、中国音楽、太極拳などを体験する活動があったり、日本語学科の人と交流する機会があったりと毎日楽しかったです。午後に活動がないときは、瀋陽でできた友達と郊外に出かけたり、ご飯を食べたり、バスケットボールを一緒にしたり、日本語学科の子が受けている授業に参加させてもらったりとても充実したものとなりました。



中国茶道で使う湯呑

4、休日について

土曜日・日曜日の休日は、イベントが用意されており、それに参加しました。土曜日にモンゴルの留学生とイタリアの留学生と一緒に餃子づくりやゲームを一緒に行いました。餃子の具は、二種類くらいありました。皮に包む方法は、家庭によって違うようでした。とても楽しく、美味しくいただきました。餃子づくりは、午前中に終わったので、私は、コリアタウンに出かけました。郊外とは、また違った雰囲気を醸しだしていました。日曜日は、日本語学科の学生とイタリアの留学生と一緒に午前は故宮へ、午後は北陵公園へ行きました。昔都があった瀋陽にある天皇の城が故宮で、北陵公園は、天皇のお墓だそうです。故宮は、とてもきれいな模様が天井にあったり、図書館があたりとても楽しく見学しました。北陵公園は、のどかな感じがよいなと思いました。昼食は、瀋陽で有名な餃子屋さんで中華料理を食べました。焼いた餃子、蒸した餃子、水餃子などがあり、具も様々でした。中でもトマトの餃子は珍しいと思いました。土日も充実していました。



餃子づくりで作った
餃子



瀋陽で有名な餃子屋さん



故宮にあるお部屋の天井

5、中国と日本の違いなど

・トイレ

→日本のように親切にトイレットペーパーを常備しているところは珍しいです。常にポケットティッシュを持ち歩きましょう。

・交通

→とにかく車が多いです。クラクションを鳴らすのは日常茶飯事です。音にびつくりしないで堂々と歩きましょう。

・食事

→日本で出てくる中華料理とは全く違います。中には、舌が痺れるスパイスが入っているものもあります。食事は、好みが分かれるかもしれません。おすすめは、果物屋さんのメロンです。安くておいしいです。学校の東区にある中華のお店がおいしかったです。

日本と違い、ご飯をふつうに残す光景に驚きました。

飲み水は、ペットボトルを買きましょう。

・人柄

→とてもフレンドリーな方が多かったように感じます。地下鉄で困ったときに中国語が喋れない私を助けてくれる人もしてとても親切でした。お店でも、日本人が珍しいのかトイレ掃除のおばさんに話しかけられました。

中国では、友達同士が腕を組んで歩くのが当たり前です。

6、最後に

私はこの2週間でたくさんのことを吸収したように思います。中国で出会った人たちとコミュニケーションをとることで、文化などの違いにも触れることができました。そして、何より人の温かさを感じることができたのが嬉しかったです。そこで出会ったのは、何か縁があつてのことだと思うし、大切にしたいと思うので、これからも連絡を取っていつかまた会いに行きたいと思います。



故宮での一枚



授業終わりにバスケットボールをした時の写真です。
校内には、運動場やバスケットボールのコート、テニス
コートなどがいくつもあり充実しています。